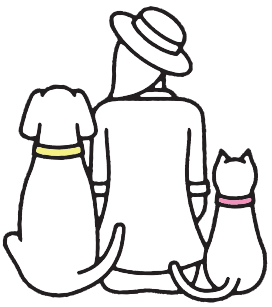
ペットサポートの
PS保険
ペットのダイレクト保険

Disclosure 2024

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

ペットメディカルサポートの現状



Pet Medical Support

もっとペットを、
もっとあなたを、
守りたい。

経営理念

No.1 Philosophy

動物たちとの生活を安心して過ごしていただくために、動物の健康、社会化（マナー等）に積極的に取り組み、動物たちが安心して人と共存できる社会の実現を目指し、ペット保険の普及に努めます。

No.2 Philosophy

お客さま本位のサービスを心がけ、社員、代理店にコンプライアンスの徹底をはかることによりお客さまから信頼され、選ばれる企業となります。

No.3 Philosophy

社員が個性を生かし能力を発揮できる環境の整備に努め、社員それぞれが自分の夢を実現できる企業を目指します。

ご 挨 拶

ペットメディカルサポート株式会社
代表取締役　米 満 明 仁
2024年6月吉日

（愛犬：チョコ）

平素より、PS保険をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

2023年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の５類移行やインバウンド需要の復活などの影響により景気回復への期待感は見られたものの、急激な円安に伴う物価高や実質賃金の低下もあり、予断を許さない状況が続きました。

ペット保険については、市場規模は拡大傾向にあるものの普及率自体はそれほど高いとは言えず、今後も普及率の上昇による契約件数の全体的な底上げが見込まれます。

このような状況下で、ペット保険を専業としている当社は、昨年に引き続き、PS保険（家庭動物保険）をインターネット市場にて販売することに注力し、あわせて、当社の経営理念や商品・サービスに賛同いただいた代理店や協業先との連携による販売活動の多様化を進めた結果、2024年３月期の保有契約件数は21万件を超えており、前年度比113.1%の伸展率を示しております。

ペットサポートのPS保険は、「愛犬・愛猫と安心して暮らしたい」そんな思いから生まれたペット保険です。一般社団法人ペットフード協会の「全国犬猫飼育実態調査」によりますと、ペットの平均寿命は2018年では犬14.29歳、猫15.32歳であったものが、2023年では犬14.62歳、猫15.79歳と伸びており、ペットの長寿化が進んでおります。一方で高齢になれば人間と同様に傷病も増え、加えてペット医療の高度化により高額治療が必要になることもあります。そこで当社では、「多くの飼い主さまが無理なく加入でき、長く続けてもらえるペット保険」を目指して、2008年よりPS保険の普及につとめてまいりました。ペット保険によって飼い主さまが必要なときにためらうことなく、愛する家族の治療に専念できる一助になると考えております。

また、当社は「動物が安心して人と共存できる社会の実現」を経営理念としており、企業の社会的責任を果たすための活動にも取り組んでおります。持続可能な社会の実現貢献のために取組むべきSDGsとして、「ペットの健康に関する情報発信」、「国際セラピードッグ協会やペットのおうちの活動支援などの殺処分ゼロに向けた取り組み」を行っております。当社のロゴマークには、同じ方向を見つめて寄り添うペットと人の姿が描かれています。その後姿を見守る目線こそがわたしたちであり、ペットの一生に寄り添う飼い主さまを見守り、サポートしたいという私たちの思いが込められています。ペット保険のご提供のみならず、人間とペットのSDGsを通じて社会的責任を果たしていきたいと考えております。

お陰さまをもちまして、ご加入いただいたお客さまにご評価いただき、日経トレンディ［ペット保険部門］で４年連続大賞を受賞いたしました。こうした実績・評価を得られましたのも、ご契約者さま、代理店さま、協力会社さまなど、関係の皆さまのご支援の賜物と心よりお礼申し上げます。

今後も、より質の高いサービスの提供に取り組んでまいります。変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

もっとペットを、
もっとあなたを、
守りたい

ペットサポートの
PS保険
ペットのダイレクト保険

INDEX

1. 当社の概要

経営理念 …… 1
ご挨拶 …… 1
沿革 …… 3
ペット保険市場について …… 4
2023年度の現況 …… 5
代表的な経営指標 …… 6
地域・社会に対する取り組み …… 7
2023年度のトピックス …… 8

2. 当社の取組

当社の商品・サービス …… 9
お客さまサポート体制 …… 10
保険募集 …… 11
保険金のお支払い …… 12

3. 当社の運営

「お客さまの声」への対応 …… 13
お客さまから寄せられた感謝のお言葉 …… 14
お客さま本位の業務運営方針 …… 15
個人情報保護方針 …… 16
コンプライアンス …… 17
リスク管理体制について …… 18
反社会勢力への対応に関する基本方針 …… 18
勧誘方針 …… 19

4. 資料（会社データ）

組織図 …… 19
役員の状況 …… 20
株主の状況 …… 20
会計監査人の状況 …… 20
従業員の状況 …… 21

5. 資料（業績データ）

直近の事業年度（令和５年度）における業務の概況 …… 21
直近の３事業年度における主要な業務の状況を示す指標 …… 22
直近の２事業年度における業務の状況 …… 22
責任準備金の残高 …… 26
直近の２事業年度における財産の状況 …… 27
計算書類 …… 27
保険金等の支払能力の充実の状況 …… 33
時価情報等 …… 33
その他 …… 33

ペットサポートの
PS保険
ペットのダイレクト保険

2024

ディスクロージャー誌

沿革

- 2023年10月　保有契約件数20万件達成
- 2021年11月　保有契約件数15万件達成
- 2021年2月　幡ヶ谷オフィス開設
- 2020年6月　本社移転（東京都港区　青山タワープレイス）
- 2020年3月　保有契約件数10万件達成
- 2019年1月　24時間365日対応の保険金請求受付（ホームページに新設）を開始
- 2018年9月　24時間365日対応の獣医師ダイヤルサービス（ご契約者さま専用）を開始
- 2017年11月　保有契約件数5万件達成
- 2016年8月　オンライン加入で月払方式の取り扱いを開始
- 2014年7月　企業ロゴおよびホームページリニューアル
  Pet Medical Support（企業ロゴ）　ペットサポートの PS保険 ペットのダイレクト保険（商品ロゴ）
- 2013年4月　スマートフォンに対応するホームページへ改定（レスポンシブ対応）
- 2010年4月　補償タイプ「約定支払率70%」の販売を開始
- 2009年7月　インターネットによる加入申込みを開始
- 2008年5月　ペット保険「PS保険」の販売を開始
- 2008年3月　少額短期保険業の登録を完了　関東財務局長（少額短期保険）第24号
- 2007年4月　少額短期保険会社への準備会社として ペットメディカルサポート株式会社を設立
  Pet Medical Support（当時のロゴ）

ペット保険市場について

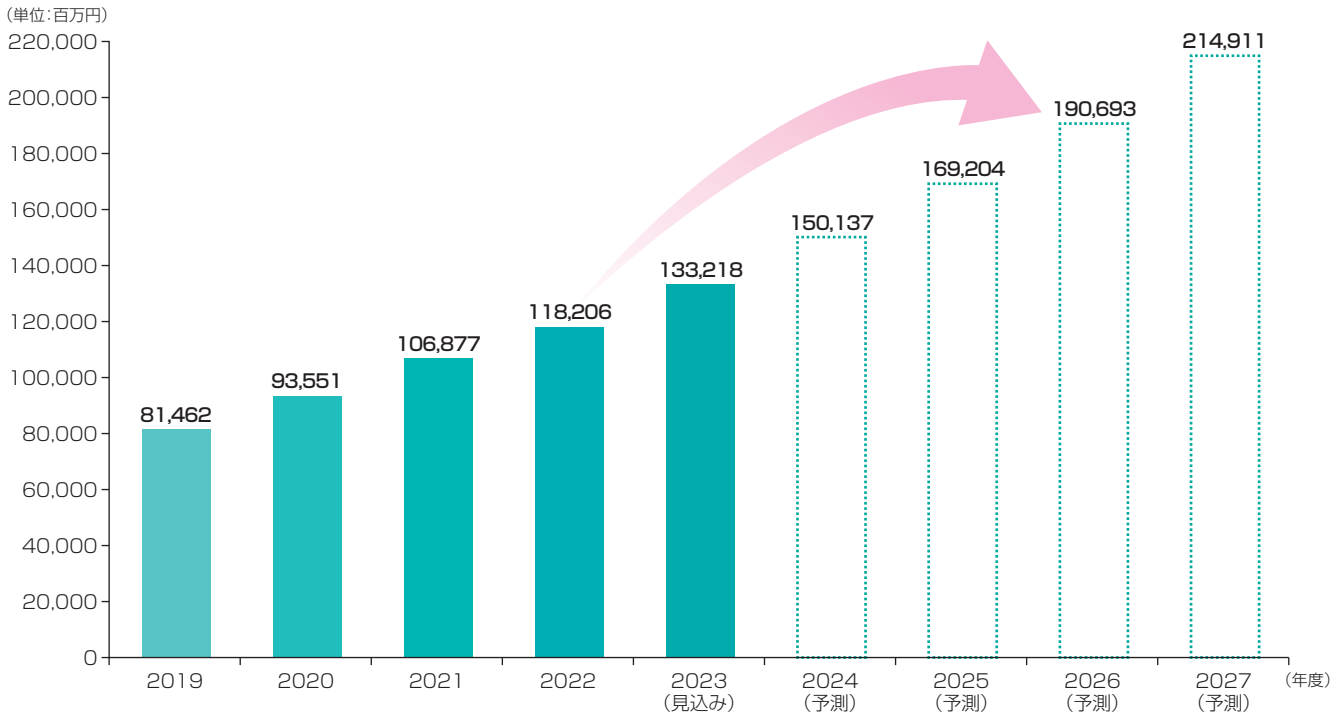
ペット保険の市場は、2019年度末から2022年度末までの3年間で前年度比110.6%～114.8%となっており、年平均112.7%で伸展しています*1。また、昨今は新型コロナウイルスの感染拡大で多くの人々の生活は変化し在宅時間が増えた影響もあり、ペットと過ごす時間、接する頻度が増えておりペットへの関心は高まりを見せています。

一方、動物愛護管理法では、動物の飼い主はその動物が命を終えるまで適切に飼養する「終生飼養」の責任があり、都道府県等は終生飼養に反する理由による引取り（老齢や病気を理由とした引取り等）を拒否できるようになりました。これにより、ペットに適切な医療を施す必要性が高まっており、ペット保険マーケットの伸びもこういった背景が影響しているものと考えます。

しかしながら、日本におけるペット保険の加入率は17.3%程度*2と推定されており、イギリスの30%程度、スウェーデンでの70%以上の加入率と比べて低いと考えられます。

今後、ペットの家族化や獣医療の発展および、ペット保険の認知度向上により、ペット保険の需要は更に高まっていくものと考えられます。ペット保険のマーケット規模は、今後も112.7%程度の伸展が継続するものと予想され、2027年度には2020年度の2 倍以上に成長することが見込まれております。

ペット保険収入保険料の推移と予測



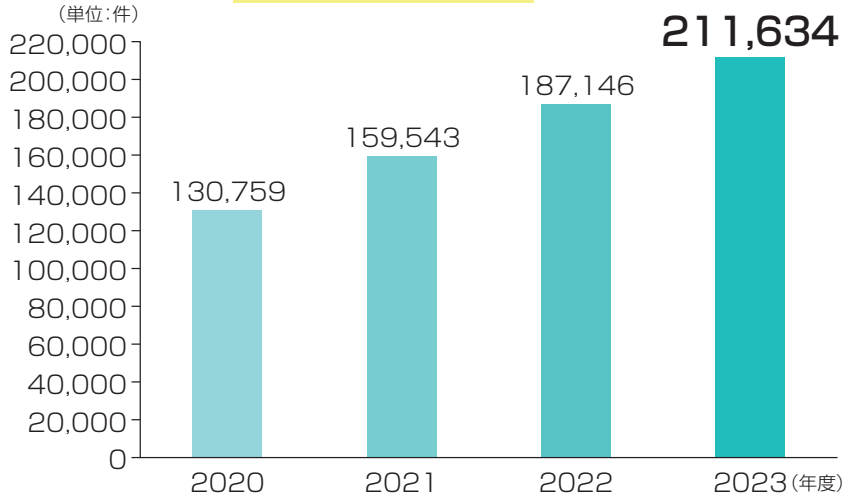
＊1　ペット保険を取り扱う損害保険会社・少額短期保険会社17社の内、
ホームページでペット保険の収入保険料を開示している15社の合計保険料を当社独自に集計し、年度伸展率を算出しております。

＊2　ペット保険を取り扱う損害保険会社・少額短期保険会社17社の内、
ホームページでペット保険の保有件数を開示している7社の合計件数を当社独自に集計し、
全国の犬猫飼育数（出典：一般社団法人ペットフード協会「令和5年　全国犬猫飼育実態調査」）にて除することで推定しております。

2023年度の現況

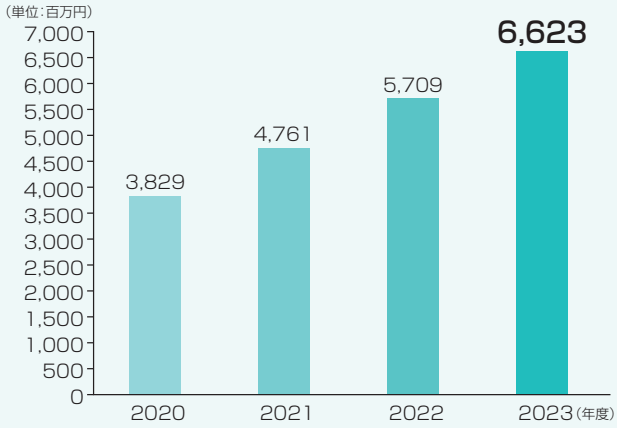
保有契約件数、収入保険料、および保険金支払件数ともに順調に推移しており、多くのお客さまに当社のペット保険をご利用いただいています。

保有契約件数21万件を突破



保有契約件数
対前年比
113.1%

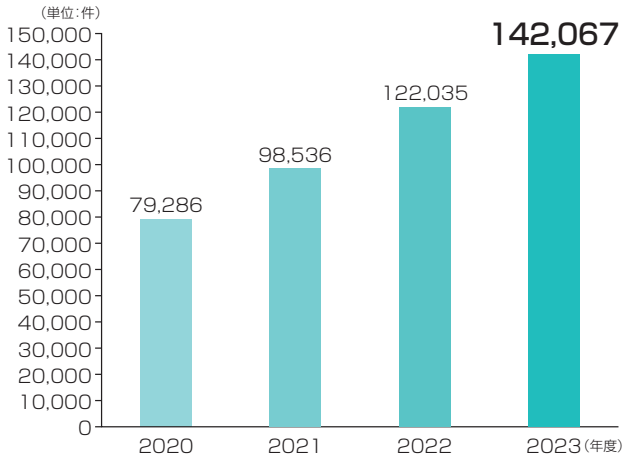
収入保険料66億円を突破



収入保険料増加率
対前年比
116.0%

保険金支払件数14万件を突破

※通院・入院・手術について、それぞれの回数を集計しています。



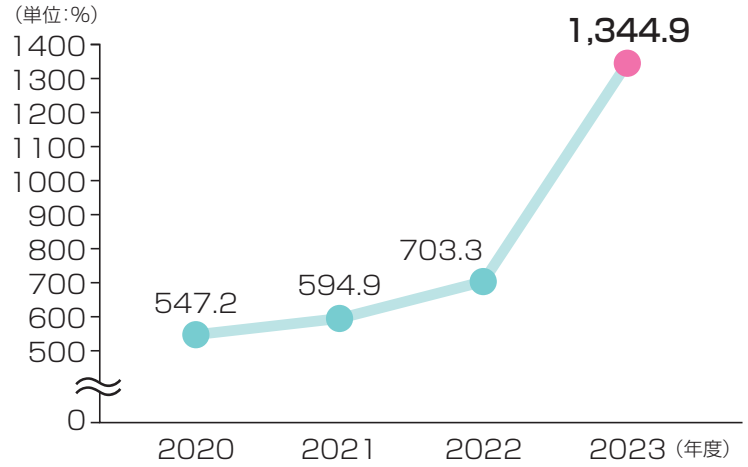
保険金支払件数
対前年比
116.4%

代表的な経営指標

（単位：千円）

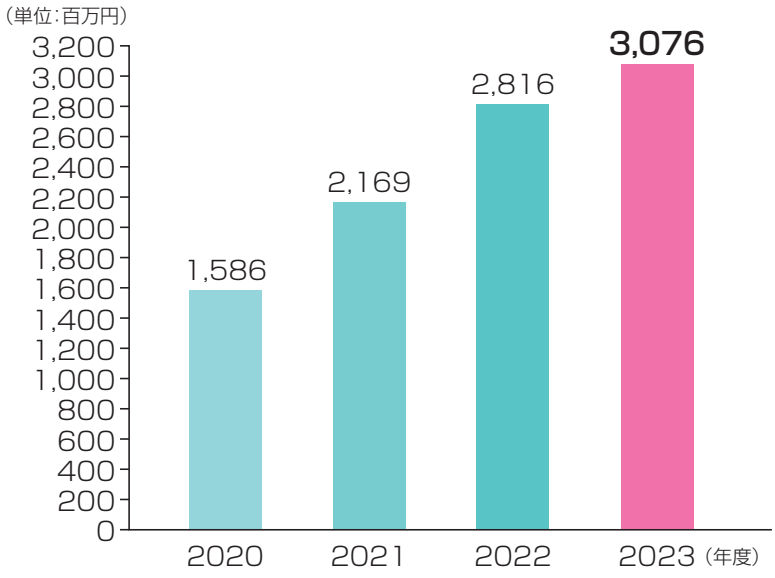
項　　目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
正味収入保険料	381,066	473,460	567,559	657,851
コンバインド・レシオ	45.4%	32.6%	14.4%	77.7%
コンバインド・レシオ（再保険控除前）	91.3%	90.3%	88.8%	88.0%
保険引受利益	28,627	137,379	259,826	392,776
経常利益	28,629	137,384	259,836	394,124
当期純利益	14,953	63,609	106,734	355,582
単体ソルベンシー・マージン比率（※）	547.2%	594.9%	703.3%	1,344.9%
総資産額	1,585,716	2,168,908	2,816,329	3,075,748
純資産額	130,539	194,149	300,883	656,466

（※）2023年度の単体ソルベンシー・マージン比率を訂正しております（訂正前：1,191.6%。本資料の他ページも同様）



単体ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率は、保険会社が、「通常の予測を超えるリスク」に対して、どの程度「自己資本」・「準備金」などの支払余力を有するかを示す健全性の指標で、200%を下回った場合に是正措置命令を発動されますが、当社は十分な支払い余力を有しています。



総資産額

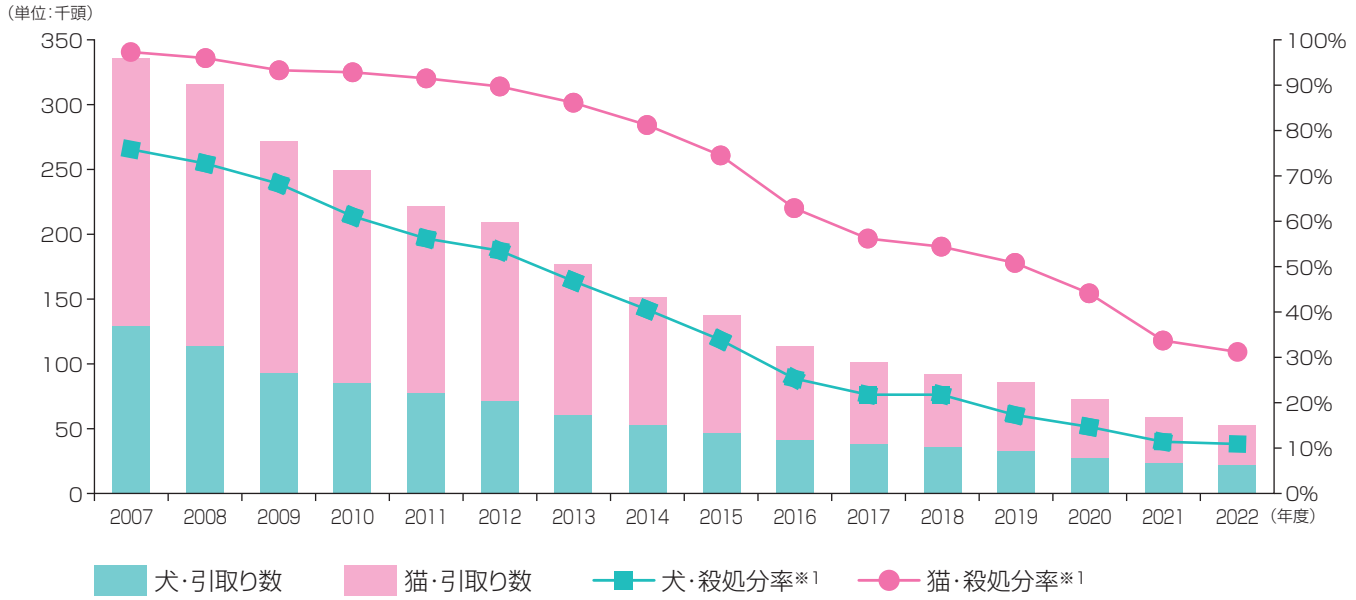
企業の全ての資産を合算した「資産合計」のことをいいます。貸借対照表（B/S）の資産の部における「流動資産」と「固定資産」と「繰延資産」の３つの合計をいいます。

地域・社会に対する取り組み

殺処分ゼロに向けた活動支援

動物保護団体等が、殺処分される前に保護した犬や猫のことを一般的に「保護犬」「保護猫」と呼びます。日本では「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、各都道府県に動物愛護センターが設置されています。同センターに保護された犬や猫は一定期間経過後に殺処分されます。動物愛護センター、動物愛護団体、ボランティア活動による努力、譲渡会の一般の方への認知向上と動物愛護精神の高まりにより、年々殺処分の数は減少しているものの、残念ながら殺処分はまだ行われています。

当社では、１日も早い殺処分ゼロに向けて、積極的にペットを救う活動をしている団体の支援を行っています。「一般財団法人国際セラピードッグ協会」の活動支援や、事情によりペットを飼えなくなってしまった飼い主さんや、ペットを保護している保護活動者さんなどと、ペットの飼育を検討している方が交流できる里親募集サイト「ペットのおうち」を支援することで、殺処分ゼロに向けて取り組んでおります。



出典：2022 年度 環境省「犬·猫の引取り及び負傷動物の収容状況」をもとに当社にて作成
※1 殺処分数を引取り数で除したものです。

一般財団法人国際セラピードッグ協会より感謝状を贈呈されました

一般財団法人国際セラピードッグ協会 創始者で音楽家の大木トオル代表より、同協会の活動を支援し、社会貢献したことに対して感謝状が贈呈されました。

同協会では、殺処分ゼロへの活動を積極的に行っており、各地の愛護センターなどから保護した犬をセラピードッグに育成することにより、保護犬が第二の犬生をセラピードッグとして生きられるように、育成・啓発活動を行っております。

2023年度のトピックス

ペットのおうち

ペットメディカルサポート株式会社はこの度、株式会社Easy Communicationsが運営するペットの里親募集サービス「ペットのおうち」の公式スポンサーとなりました。同サービスの「殺処分ゼロ」に向けた取り組みをサポートすることで、当社が掲げる「動物が安心して人と共存できる社会」を実現できるよう一層努めてまいります。

「ペットのおうち」の公式スポンサーへ

ペットのおうち Easy Communications Inc. × ペットサポートのPS保険

事情によりペットを飼えなくなってしまった飼い主さんや、ペットを保護している保護活動者さんなどと、ペットの飼育を検討している方が交流できる場所が「ペットのおうち」です。PS保険は「ペットのおうち」の公式スポンサーとなり、新たな飼い主さんを待っているペットが一匹でも多く、新しい"おうち"で幸せな生活を送ることができるよう、支援していきます。

2023年 オリコン顧客満足度®ランキング ペット保険 小型犬部門で第1位を受賞

ペット保険会社16社を対象にオリコンが調査を行い、過去5年以内に実際にペット保険を利用された方から得た回答を、商品やサービスに対する満足について情報化した、公平性と信頼性の高いランキングにて第1位を獲得しました。

ペット保険大賞を受賞

当社商品である「PS保険」は、歯科治療を含む、広く手厚い補償内容から、『日経トレンディ』2023年5月号「保険大賞2023」の「ペット保険」分野におきまして調査対象ペット保険会社8社の中で最もメリットが大きいと判断いただき「ペット保険部門大賞」を3年連続で受賞いたしました。

保険金請求のお手続きがインターネットで完結できるようになりました

ホームページから保険金請求に必要な情報をご入力のうえ、カメラで撮影した診療明細書を画像ファイルとしてアップロードすることで、365日24時間いつでも保険金請求のお手続きが可能になりました※1。

また、請求書類発信後に書類に不備や不足があった場合も郵送の必要がなく、ホームページの保険金請求画面から書類をアップロードしていただくだけで、スピーディーなお手続きが可能となりました※2。

※1 傷病の内容によっては、書類等の送付が必要となる場合があります。
※2 ご提出いただいた書類の内容のみで判断しかねる場合、受診の経緯や事故状況等について確認させていただく場合があります。
また、約款の規定により保険金をお受け取りいただけない場合があります。

当社の商品・サービス

当社はペット保険の **PS保険（家庭動物保険）** を取り扱っています。

補償内容

通院補償	入院補償	手術補償	車イス補償（QOL維持費用担保特約）※
支払限度額 1日につき	支払限度額 1日につき	支払限度額 1回につき	支払限度額
10,000円	20,000円	100,000円	100,000円
年間最大 20日限度	年間最大 30日限度	2回限度	自動セット

※本補償は事故に起因する場合のみ適用

＋ オプション

ペットセレモニー費用（火葬費用等担保特約）
支払限度額 **30,000円**

主な特徴

1. 犬・猫のケガ・病気の診療費に対し、ご加入いただいた補償プランにより お支払い対象となる診療費の **50%、70%、100%** をお支払いします。
2. 通院補償は、**すべてのご契約にセット** しています。
3. 保険期間は **1年間**。更新は **終身** です。
4. 犬・猫の年齢、犬種によって **保険料** を **区分** しています。

ご注意 Attention

上記は商品の概要になります。保険募集を目的としたものではありません。
詳しくはパンフレットまたは当社のホームページをご覧ください。

お客さまサポート体制

当社では、主に通信販売方式による保険募集を行っております。

通信販売方式においては、インターネット申込みおよびコールセンターを経由した資料請求に基づくダイレクトマーケティングを実施しております。インターネット、電話等を介していてもお客さまとは Face to Face の精神を常に心がけております。

インターネットサポート

お客さまの利便性をさらに高めるためホームページから、必要なお手続きを行えるように整備を続けています。

2024年2月には、ホームページからいつでも保険金請求のお手続きができるようになりました。

ホームページ
（ご契約者さまページ）

電話サポート

お客さまの状況にあわせて、2 つの電話サポート窓口を整備し、お悩み事の早期解決をお手伝いします。

新規お客さま ご相談窓口・資料請求受付

電話で資料請求されたいお客さま、PS 保険のお申込をご検討中のお客さまの疑問にお答えするための相談窓口です。

0120-535-797

受付時間 平日 8:00〜19:30 土曜 9:00〜18:00（日・祝日・年末年始を除く）

通話料無料

お客さま サービスセンター

保険金のご請求や、ご契約内容の変更等に関するお問い合わせ、お手続きを行うための窓口です。

0120-335-573

受付時間 平日 9:30〜17:30（土・日・祝日・年末年始を除く）

通話料無料

獣医師によるサポート

「ご契約者さまが、いつでも安心感を得られるペット保険」をコンセプトに、24時間、365日、獣医師にペットのことを電話で相談できる「獣医師ダイヤル」のサービス（※）を提供しています。

※Anicli24（アニクリ24）は獣医師による電話医療相談サービスを提供する動物病院です。
※当サービスでは保険に関する相談はお受けできません。
※通話料はお客さまのご負担となります。

保険募集

契約締結の仕組み

●代理店による保険募集

代理店は少額短期保険会社との間で締結した少額短期保険代理店委託契約に基づき、保険会社に代わって保険募集を行います。当社では、主に保険会社のために保険契約の媒介を行う媒介代理店を通じて保険募集を行っています。

●通信販売による保険募集

通信販売での保険加入では、当社からお送りする資料等の内容をご確認のうえ、保険契約のお申込みと保険料のお支払いをしていただき、手続き完了となります。また、当社では、資料請求をされなくても、ホームページで商品内容の確認や保険料の見積もりをすることができます。

あわせて、ホームページで、保険契約締結を完了させることができます。

当社ホームページ

●クーリング・オフ制度（契約申込みの撤回等）について

本来、保険期間が１年以下の保険契約については、クーリング・オフ制度の対象とはされていませんが、当社は、初年度契約に限り（継続契約は対象となりません）、クーリング・オフの対象としています。

この場合、お客さまが「ご契約をお申込みされた日」または「クーリング・オフに関する説明書を受け取った日」のいずれか遅い日から８日以内であれば、郵便またはＥメールにてお申込みの撤回を行うことができます。

●契約内容の確認に関する取り組み

当社ではお客さまの希望される補償内容等に沿っているか、契約締結前にご確認いただいたうえで、お申込みいただいています。また、ご契約の内容やお引受け条件等については、契約成立後にお届けする保険証券や継続通知証等でご確認いただけます。

代理店

●代理店の役割と業務内容

代理店は少額短期保険会社である当社と少額短期保険代理店委託契約を締結し、これに基づき当社の代わりに保険募集を行い、お客さまとの間で保険商品の内容の説明や、保険契約の媒介をすることを基本的業務としています。

代理店は少額短期保険に関して、お客さまと保険会社のパイプ役としてお客さまに様々な情報を提供し、家族の一員であるペットに対する医療費用保険等を通じて、お客さまの生活の安定に向けてお手伝いをするという社会的役割を担っています。

●代理店登録

少額短期保険代理店として保険募集を行うためには、保険業法第276条に基づき主務官庁に登録しなければなりません。また、代理店の役員・使用人として保険契約の募集を行う人は、保険業法第302条に基づき、主務官庁に届け出なければなりません。

当社では、代理店で保険募集に従事する人は、一般社団法人日本少額短期保険協会が運営する「少額短期保険募集人試験」に合格することなどを要件としています。

●代理店教育

当社の代理店および募集人は、商品内容をはじめ、コンプライアンス、事務処理等について業務知識に関する研修を受けており、常に適切な保険募集ができるよう努めています。

●代理店数

当社の代理店数は、2024年３月31日現在、全国で57店です。

保険金のお支払い

保険金のお支払いまでの流れ

保険金のお支払いは最も重要な業務の一つです。保険金のお支払いを適切かつ迅速に行うことで、お客さまに「安心」をお届けすることができると考えています。

保険金請求の流れ

動物病院などへ当社から直接治療費をお支払いすることはできませんので、あらかじめご了承ください。

Step 01 診療費のお支払い

動物病院での診療を受けられたら、診療費全額をお支払いいただき、**診療明細書（領収書）をお受け取りください。**

Step 02 保険金請求のご連絡

※①当社ホームページから直接の保険金請求

スマートフォン・パソコン
受付時間:24時間365日

②保険金請求書類を取り寄せて郵送で保険金請求

(i)当社ホームページから請求書お取り寄せ

スマートフォン・パソコン

当社ホームページにて保険金請求の受付をしております。お電話は不要です。

受付時間:24時間365日

(ii)お電話で請求書お取り寄せ

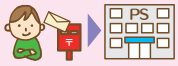
お電話

無料通話ダイヤル

0120-335-573

受付時間:平日9:30～17:30
（土・日・祝日および年末年始の当社休業日を除く）

当社より保険金請求書を郵送します



保険金請求書の必要事項を記入し、診療明細書（領収書）を同封のうえ、当社に 送付ください。

Step 03 保険金のお支払い

当社にて、支払保険金の額を算出し、保険金を被保険者のご指定口座へお振込みいたします。

●保険金請求の仕組み

お客さまが動物病院で診療費をお支払いいただき、保険金請求に必要な書類を全て当社にご提出いただいた後、原則20日以内に保険金をお支払いいたします。

※保険金をお支払いするために特別な確認・調査・照会等が必要となった場合には、別途お支払いまでの日数を定めます。

■無料通話ダイヤルによる保険金請求窓口の設置

保険金請求専用の無料通話ダイヤルを設置しております。

■ホームページでの保険金請求連絡窓口の設置

24時間365日、ホームページより保険金請求の連絡を行うことができます。

■ホームページから保険金請求書類をダウンロード

ホームページより保険金請求書類等をダウンロードすることで当社への連絡後すぐにご請求のお手続きをすることができます。

■支払査定および事実確認の体制

保険金お支払可否の判断にあたり、事実の調査・確認を十分に行う体制を整備しております。高度な医学的判断を要するものについては獣医師に、法的判断を要するものについては顧問弁護士の意見を求める体制を整えています。

■保険金をお支払いできない場合の対応

始期前発症などにより保険金をお支払いできない場合もあります。その際には、担当者より電話または書面にてご連絡させていただく手続きをしております。

「お客さまの声」への対応

「お客さまの声」に対する当社の取組方針

当社は、お客さまから寄せられる様々な声を、前向きかつ積極的に受け止めるとともに、迅速かつ的確に行動し、お客さまサービスの向上を図ることが重要であると考えています。お客さまからのご意見・ご要望は、お客さまが要求するサービスのレベルと当社が提供するサービスのレベルの差が具体的に表面化したものであると認識しており、お客さまからの「相談」「苦情」を貴重な声として受け止めています。当社は「お客さまの声」を当社の業務改善に反映させ、より一層、お客さまにご満足いただけるサービスを提供できるよう、努めてまいります。

当社における「苦情」の定義

当社における「苦情」とは、「お客さまからの不満足の表明」としています。当社にお客さまから直接申し立てられたものだけでなく、財務局、国民生活センター、日本少額短期保険協会等の外部機関や代理店、動物病院等を経由して当社に連絡があったものも含みます。また、「お客さま」とは、当社との保険契約の有無を問わず、広く一般の消費者を指します。

当社に対するご意見・苦情の受付について

当社に対するご意見・苦情につきましては、お客さまサービスセンターへご連絡ください。また、当社との間で問題が解決できない場合は、指定紛争解決機関として、一般社団法人日本少額短期保険協会「少額短期ほけん相談室」（以下「少額短期ほけん相談室」）をご利用することもできます。

PS保険お客さまサービスセンター　0120-335-573（通話料無料）

受付時間　9:30～17:30　受付日　月曜日から金曜日（土曜・日曜・祝日ならびに年末年始休業期間を除く）

ホームページアドレス　https://pshoken.co.jp/inquiry/

お申し出は、お電話またはホームページよりお願いいたします。

指定紛争解決機関について

当社との間で問題を解決できない場合、「少額短期ほけん相談室」に解決の申し立てを行うことができます。

なお、一般社団法人日本少額短期保険協会は、保険業法第308条の2第1項（平成22年10月1日施行）に基づく「指定紛争解決機関」の指定認可を平成22年9月15日、金融庁長官より取得しております。

また、当社は、「指定紛争解決機関」として、一般社団法人日本少額短期保険協会と契約を締結しております。

一般社団法人　日本少額短期保険協会「少額短期ほけん相談室」

0120-82-1144（通話料無料）　FAX 03-3297-0755

受付時間　9:00～12:00、13:00～17:00　受付日　月曜日から金曜日（祝日ならびに年末年始休業期間を除く）

URL:http://www.shougakutanki.jp/general/consumer/consult.html

お客さまから寄せられた感謝のお言葉

「ＰＳ保険に加入してよかった。」とお客さまにご満足いただけることが、私たちの何よりの喜びです。お客さまからいつも信頼され、いつもそばにいて安心をお届けできるよう、これからも努めてまいります。

PS保険　ご担当者様
秋色深まるこの頃、貴社ますますご繁栄のことと存じます。
9月中旬に我が家の犬が抜歯をいたしまして この度 保険適応となり 色々とお世話になり有難うございました。
対応の早さは勿論、後日届いた書類に温かいメッセージを一言つけていただいた事がとても嬉しかったです。PS保険さんに保険会社を決めて改めて良かったと思った瞬間でした。
AIの進化により人の手を離れる仕事も多いなか心温まるメッセージをいただけたこと家族で驚きながらも笑顔で読ませていただきました。
8才になる我が家の犬は里親歴2年の私たち家族の元に来たのでお互い？色々手探りで距離を縮めております。
初めて病院に連れて行き わからないことや心配なことばかりでしたし、治療費もそうでした。
ただ、PS保険さんに入っているということはひとつ安心だった気がします。
その安心の大きさに後から改めて気が付きました。
取り急ぎお礼をと思いながら長くなり失礼致しました。
今後とも宜しくお願いいたします。

ご担当者 様へ
この度は、大変お世話になりまして誠にありがとうございました。PS保険様には保険金も含めとても助けていただきました。
保険金を請求時には、毎回、応援のお言葉をお手紙で添えて下さり、そのお言葉に私もモカも支えられて辛くても頑張ることができました。ありがとうございました。
お誕生日、頑張って迎えようね。と過ごす中での、
添えて下さったお手紙…
キラキラと光るシールを貼って下さり
「9月15日はお誕生日でしたね。
8歳おめでとうございます。」
とても嬉しく涙が止まりませんでした。辛いですが、今回10歳のお誕生日を迎える事はできませんでしたが、今まで本当にありがとうございました。
これまでは、皆さんの保険金に沢山支えられてきました。
いつか また、家族が増えた時には、今度は、自分が、自分たちが病気に苦しむわんちゃんを助けられるよう、またPS保険さんにお世話になりたいと思います。
この度は、誠にありがとうございました。

お客さま本位の業務運営方針

ペットメディカルサポート株式会社は、今般、お客さま本位の業務運営方針を以下の通り定め、動物たちが安心して人と共存できる社会の実現を目指して取り組みを行います。

1. お客さま本位の業務運営

私たちは、お客さまの声を真摯に受け止め、お客さまの安心につながる業務運営に努めます。

2. お客さまにとって安心につながる商品・サービスの提供

私たちは、できるだけ多くの方が無理なく加入でき、長く続けられるような保険商品の提供を行います。また、保険金のお支払に際し、お手続きは簡潔に、お支払は迅速に行います。

3. お客さまへの適切な情報の提供

私たちは、お客さまやペットたちにとって安心をお届けできるよう、商品・サービス内容を明確にし、お客さまがご判断する際に役立つ情報の提供を行います。

4. 利益相反の適切な管理

私たちは、お客さまと利益相反が生じる可能性のある取引について、お客さまの利益が不当に害されることのないよう適切に把握・管理します。

5. お客さま本位の業務運営の浸透

私たちは、お客さまに安心して過ごしていただくため、全役職員に対して研修・教育を実施し、本方針の定着に向けた取り組みを継続して行います。

「お客さま本位の業務運営方針」に基づく取組み状況のご報告は、こちらに掲載しております。
https://pshoken.co.jp/company/customer_report.html

個人情報保護方針（抜粋）

当社は、個人情報保護の重要性に鑑み、個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）その他の関連法令、金融分野における個人情報保護に関するガイドラインを遵守して、個人情報を適正に取り扱うとともに、安全管理については、金融分野における個人情報保護に関するガイドラインの安全管理措置等についての実務指針に従って、適切な措置を講じます。当社は、個人情報の取扱いが適正に行われるように、当社代理店および当社業務に従事している者への教育・指導の徹底に努めます。また、当社の個人情報の取扱いおよび安全管理に係る適切な措置については、適宜見直し、改善いたします。

なお、本個人情報保護方針で「個人情報」とは、生存する個人に関する以下の情報を指します。

1．当該情報に含まれる氏名、生年月日、その他の記述等により特定の個人を識別できるもの
2．個人識別符号が含まれるもの

●個人情報の利用目的

当社は、取得した個人情報を、以下の目的（以下「利用目的」といいます。）に必要な範囲で利用します。利用目的の範囲を超えて取り扱う場合は、個人情報保護法第16条第3項各号に掲げる場合を除き、書面によりお客さまご本人の同意をいただいた上で行います。

1．保険契約の申込みに係る引受の審査、引受および管理
2．保険契約にかかる付帯サービスの提供
3．再保険契約の締結、再保険契約に基づく通知および再保険金の請求
4．当社が取り扱う保険商品やサービスのご案内・提供
5．当社グループ会社・提携先企業が取り扱う商品やサービスのご案内
6．保険金請求に係る調査（関係先への照会を含みます）
7．保険金のお支払い
8．当社が有する債権の回収
9．保険金不正請求等の犯罪防止・排除
10．当社または当社代理店が提供する商品やサービス等に関するアンケートの実施
11．市場調査ならびにデータ分析やアンケートの実施等による新たな商品やサービスの開発
12．販売網基盤（代理店等）の新設・維持管理
13．他の事業者から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において委託された当該業務
14．その他、上記1.～13.に付随する業務ならびにお客さまとのお取引、および当社の業務運営を適切かつ円滑に履行するために行う業務

●個人データの第三者への提供

当社は、以下の場合を除いて、書面等によるご本人の同意を得ることなく個人データを第三者に提供することはありません。

1．法令に基づく場合
2．他の少額短期保険会社もしくは損害保険会社等との間で共同利用する場合
3．当社グループ会社・提携先企業との間で共同利用する場合
4．上記2.個人情報の利用目的を達成するために必要な業務の全部または一部を、委託先（保険代理店を含みます）に委託する場合

●個人データの取扱の委託

当社は、利用目的の達成に必要な範囲において、個人データの取扱いを外部に委託することがあります。当社が、外部に個人データの取扱いを委託する場合には、委託先の選定基準を定め、あらかじめ委託先の情報管理体制を確認する等委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。

当社では、例えば次のような場合に、個人データの取扱いを委託しています。

- 保険契約の募集に関わる業務
- 事故の受付や損害調査等に関わる業務
- お客さまからのお問い合わせの対応に関わる業務
- 情報システムの保守・運用に関わる業務

●個人データの安全管理等

1．組織的安全管理措置
- 個人情報保護管理責任者を設置しています。
- 漏えい事案等に対応する態勢を整備しています。
- 個人データの取扱状況の点検および監査態勢の整備をしています。

2．人的安全管理措置
- 個人情報についての秘密保持に関する事項を就業規則に定めています。
- 従業員と秘密情報および個人情報に関する誓約書を締結しています。
- 従業員への安全管理措置の周知徹底および訓練を行っております。
- 個人情報の取扱いに関する従業員の責任および規則等違反時の懲戒処分を就業規則に定めています。

3．物理的安全管理措置
- アクセス権限を有しないものによる個人データの閲覧を防止する措置を実施しています。
- 電子機器における記憶媒体使用を禁止しています。
- 電子機器における個人データの削除および機器、電子媒体等の廃棄を徹底実施しております。

4．技術的安全管理措置
- 情報システムについて、外部からの不正アクセスから保護する仕組みを導入しています。
- 個人データを取り扱う情報システムに関して外部による監査を行っております。
- 個人データの利用者の識別および認証を行っております。
- 個人データの漏えい毀損等防止策としてデータバックアップを行っております。

●少短協会e-ラーニング

当社は、募集人のコンプライアンス教育を目的として、（社）日本少額短期保険協会が運営する「少短協会e-ラーニング」を利用しています。

個人情報保護方針に関する詳細は、当社ホームページ（https://pshoken.co.jp/company/privacy.html）をご確認ください。

コンプライアンス

基本方針

当会社は少額短期保険業者としての社会的責任、公共的使命を十分認識し、お客さまをはじめ社会の信頼・信用を確保すべく、コンプライアンス活動を推進していきます。

行動規範

この行動指針は、当会社の役職員として遵守すべき行動を具体的に定めるものです。

1. 法令や社内規則等の遵守

企業活動における全ての行動において、法令等の遵守を基本原則とし、保険業法、金融商品販売法、独占禁止法、個人情報保護法および就業規則、社内規則等あらゆる法令・規則について、制定された目的を理解し誠実に遵守します。

2. お客さま本位のサービス

お客さまにとって分かりやすい商品と安心できるサービスを提供します。また、消費者の権利などの各種法令等を尊重し、ご意見・苦情などについては迅速かつ丁寧な対応を行います。

3. 知的財産権などの尊重

著作権や商標権などの知的財産権を故意に不正使用または侵害しません。

4. 個人情報保護の徹底

個人情報については法令、社内個人情報保護規定を守り、安全にかつ適切な管理をいたします。

5. 人権の尊重と保護

人権を尊重し、国籍、人種、性別、年齢、思想、宗教、障害の有無等による差別はいたしません。

6. 働きやすい職場環境の構築

従業員がいきいきと働ける職場環境づくりに努めます。 また、人材育成と公正な処遇を行い、あらゆる差別やハラスメントを排除し、人格・個性を尊重します。

7. 公正かつ自由な競争

お客さまの多様な価値観と需要にあわせた質の高い商品・サービスを提供するため、公正でかつ自由な競争の促進に努めます。

8. 適正な保険金の支払

少額短期保険の社会性、公共性をふまえ、公正な判断と対応を行い、適正な保険金をお支払いします。

9. 内部統制システムの強化

経営の健全性と適切な事業運営をはかるため、ガバナンスや、保険引き受けおよび資産運用等のリスク管理などの、内部統制システムを強化します。

10. 危機管理体制の強化

事業活動をしていくなかで、なんらかの問題が発生した場合には、迅速に、その事実・原因を正確に把握し、適切な対応措置をいたします。 また、再発防止策を講じるとともに、社会的に大きな問題の場合は社内外に的確に情報を開示し説明責任を果たします。

11. 人と動物の安全な共生社会の創造

少額短期保険事業活動を通じて、家庭動物の健康促進や動物医療に関する啓蒙、事故の防止や軽減など人と動物が安全に暮らせる社会の創造に向けて積極的に取り組みます。また、市民社会の秩序、モラルや安全に脅威を与える反社会的勢力に対しては、介入を排除するための具体的措置を講じ、その防止に取り組みます。

12. 社会への貢献

人と動物の共生社会を目指し、地域社会との良好なコミュニケーションをはかり社会の発展に貢献するとともに、地球環境の維持に向け積極的に取り組みます。

リスク管理体制について

当社では保険引受リスク、事務リスク、システムリスクなど様々なリスクをコントロールし、予防（早期発見）、損失の査定・分析（正確・迅速な状況把握）、対応策の実施（適切・迅速な対応）をするために、以下のような体制を整えております。

●リスク管理委員会の設置

全社的にリスク情報を把握し、その対応方針や方策等を実施し、リスク管理に関する一元的な体制を構築するため、「リスク管理委員会」を設置しております。またリスク管理体制のもと、取締役会等へ正確・迅速な報告等をしております。

●法令遵守の体制について

当社は少額短期保険業者としての社会的責任、公共的使命を十分認識し、お客さまをはじめ社会の信頼・信用を確保すべく、コンプライアンス活動を推進しております。

また、当社ではコンプライアンスにおいて、法令等を厳格に遵守するのみではなく、原理原則でとらえた健全かつ適切な業務運営を確保することにより、ご契約者様からより高い信用と満足を頂戴することにより、企業価値を高めることを目標にしております。

組織的には、取締役会およびコンプライアンス委員会において、法令遵守は経営の最重要課題の一つとして認識し、積極的に取り組んでおります。また必要に応じて顧問弁護士、外部有識者等を交えて内部統制・牽制を図っております。

さらに、部門長をコンプライアンス担当者として、日常業務における各職員の教育・指導・監視の徹底を図っております。コンプライアンス担当者はリスク管理委員会、取締役会への報告・協議等、連携を図り効果的、かつ機動的に運営しております。

また、保険業法違反を中心とした不祥事故等に対しては、行政当局への報告・届出を含めた迅速な対応を整備しております。

●再保険の状況

① 再保険を付する際の方針

当社では、経営の健全化、収益の安定化を図るため、再保険契約を活用して主に保険リスクを軽減させております。

② 出再保険会社の名称：トーア再保険株式会社

③ 再保険カバーの入手方法

安定した再保険カバーを入手するため、再保険会社の選定は、主要格付機関の格付や財務状況等を勘案し、取締役会で決定しております。

反社会勢力への対応に関する基本方針

当社は、社会の秩序や安全を確保するため、下記の通り「反社会的勢力に対する基本方針」を定め、この方針に従った対応を徹底します。

組織としての対応

当社は、反社会的勢力による不当要求に対し、職員の安全を確保しつつ組織として対応し、迅速な問題解決に努めます。

外部専門機関との連携

当社は、反社会的勢力による不当要求に備えて、平素から警察、暴力追放運動推進センター、弁護士などの外部専門機関と緊密な連携関係を構築します。

取引を含めた一切の関係遮断

当社は、反社会的勢力との取引を含めた関係を遮断し、不当要求に対しては断固として拒絶します。

有事における民事と刑事の法的対応

当社は、反社会的勢力による不当要求に対しては、民事と刑事の両面から法的対抗措置を講じる等、断固たる態度で対応します。

裏取引や資金提供の禁止

当社は、反社会的勢力に対して資金提供、不適切・異例な取引および便宜供与は行いません。

参考当社HP　https://pshoken.co.jp/company/policy.html

勧誘方針

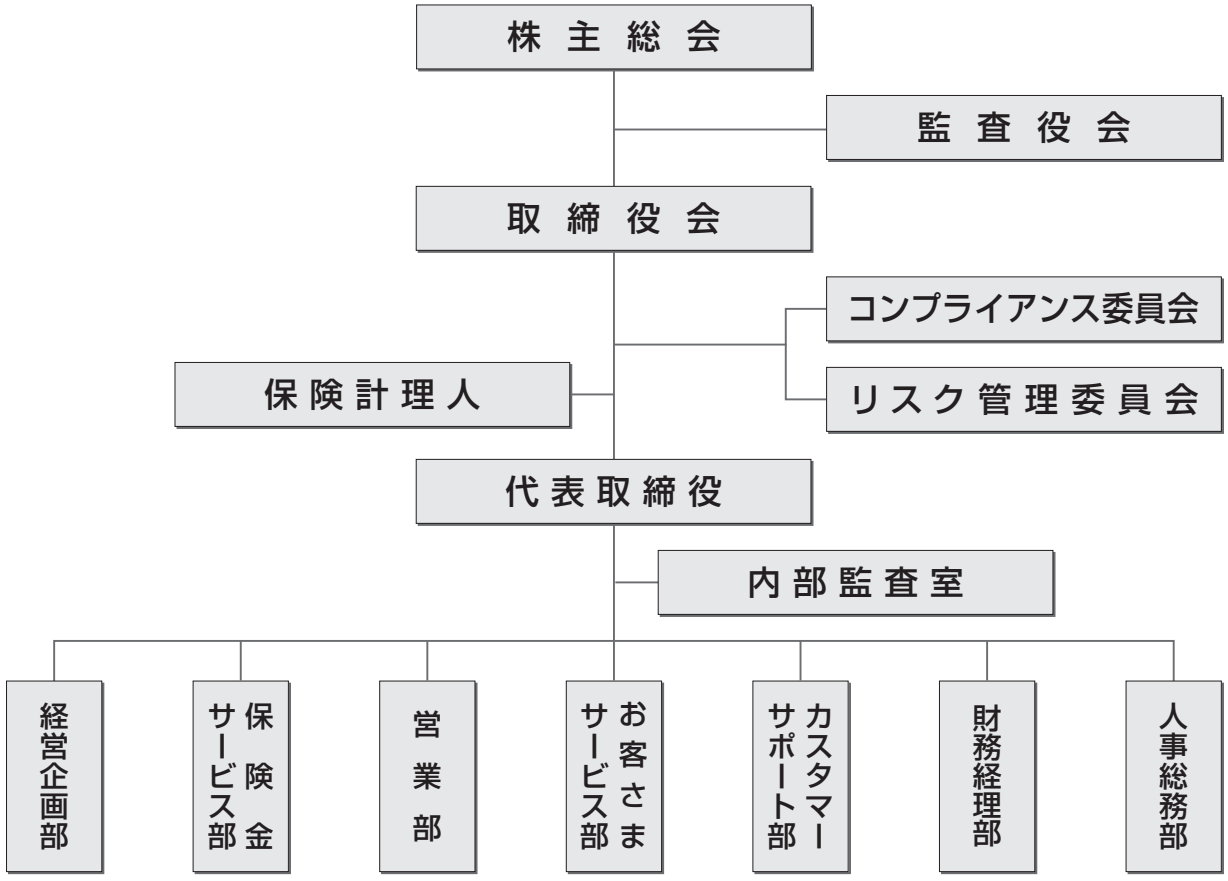
当社は、少額短期保険商品（以下「保険商品」という。）の販売に際して、各種法令等を遵守し、次の方針にもとづき、適正な勧誘を行います。

勧誘方針

- 保険商品の販売に際しては、保険業法、金融商品の販売等に関する法律、その他の関係法令等を遵守し、適正な勧誘を行ってまいります。
- 保険商品の販売に際しては、お客さまに保険商品の内容を正しくご理解いただけるよう、わかりやすいご説明に努め、適正な勧誘を行ってまいります。
- お客さまの知識、経験、財産の状況および、契約される目的を勘案し、お客さまのご意向と実情に沿った保険商品をご選択いただけるよう、適切な方法により、勧誘を行ってまいります。
- 保険商品のご案内は、お客さまのご都合やご事情に配慮した時間帯や方法により行ってまいります。
- お客さまのプライバシーの保護を徹底し、お客さまに関する情報は業務上の必要な範囲で使用し、厳重な管理を行います。
- 保険事故が発生した際の保険金のお支払いにつきましては、お客さまの状況に沿って適切かつ迅速な方法により、行ってまいります。
- お客さまからお寄せいただきました貴重なご意見等を保険商品の開発、改善に活かしてまいります。

資料（会社データ）

組織図



役員の状況

（2024年3月末現在）

氏　名	地位及び担当	重要な兼職	そ の 他
米満　明仁	代表取締役	—	—
白倉　公	取 締 役	—	—
古屋　典久	取 締 役	—	—
田中　重博	取 締 役	税 理 士	税理士法人ニューフロンティア
柏木　俊之	取 締 役	—	—
能村　智	常勤監査役	—	—
堀江　正機	監 査 役	税 理 士	堀江税理士事務所
髙橋　秀和	監 査 役	公認会計士	髙橋公認会計士・税理士事務所

株主の状況

（2024年3月末現在）

株　主	保有株数	保有割合
株式会社デンソウシャ	2,700株	35.90%
米満　明仁	1,966株	26.14%
株式会社ピクシー	1,110株	14.76%
日新火災海上保険株式会社	520株	6.91%
Pet & Trust株式会社	390株	5.19%
レイス株式会社	300株	3.99%
米満　洋一	200株	2.66%
竹村　愼治	100株	1.33%
猪又　司	100株	1.33%
槌谷　寛治	60株	0.80%
深沢　岳久	54株	0.72%
田中　重博	20株	0.27%
合　計	7,520株	100.00%

会計監査人の状況

氏名または名称
仰星監査法人

従業員の状況

区　分	前期末	当期末	当期増減	平均年齢(当期末)
従業員	63名	56名	△7名	36.1歳

資料（業績データ）

直近の事業年度(令和５年度)における業務の概況

１　少額短期保険業者の現況に関する事項

(事業の経過及び成果)

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の５類移行やインバウンド需要の復活などの影響により景気回復への期待感は見られたものの、急激な円安に伴う物価高や実質賃金の低下もあり、予断を許さない状況が続きました。

ペット保険については、市場規模は拡大傾向にあるものの普及率自体はそれほど高いとは言えず、今後も普及率の上昇による契約件数の全体的な底上げが見込まれます。

このような状況下で、ペット保険を専業としている当社は、昨年に引き続き、ＰＳ保険（家庭動物保険）をインターネット市場にて販売することに注力し、あわせて、当社の経営理念や商品・サービスに賛同いただいた代理店や協業先との連携による販売活動の多様化を進めた結果、当期末の保有契約件数は211,634件（前期末187,146件）となりました。

また、当期の経常収益は12,216百万円（前期10,696百万円)、経常費用は11,822百万円（前期10,436百万円)、経常利益は394百万円（前期259百万円）となりました。これらの結果、当期純利益は355百万円（前期106百万円）となりました。

ソルベンシー・マージン比率は1,344.9%となり、保険金支払いに問題のない充分な支払い余力を保持しています。

(対処すべき課題)

引き続き、我々の創業の思い「動物たちが安心して人と共存できる社会の実現」を目指し、ペット保険及び当社の認知度の向上、迅速かつ適正な保険金支払、お客さまの利便性向上を目指して取り組んでまいります。

また並行して、業容拡大に伴う査定や契約管理等の業務増加に対するシステム増強、業務効率化、社員育成強化等の社内体制整備を加速させ、お客さま満足度の向上を図ってまいります。

直近の3事業年度における主要な業務の状況を示す指標

（単位：千円）

区　　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経　常　収　益	8,905,551	10,696,772	12,216,905
経　常　利　益(経常損失)	137,384	259,836	394,124
当 期 純 利 益(純 損 失)	63,609	106,734	355,582
資　本　金　の　額	332,750	332,750	332,750
（発行済株式の総数）	7,520	7,520	7,520
保険業法上の純資産額	278,894	403,474	779,858
総　資　産　額	2,168,908	2,816,329	3,075,748
責 任 準 備 金 残 高	419,356	617,421	341,953
有　価　証　券　残　高	—	—	99,882
ソルベンシー・マージン比率	594.9%	703.3%	1,344.9%
配　当　性　向	—	—	—
従　業　員　数(※1)	43名	63名	56名
正味収入保険料の額	473,460	567,559	657,851

（※1)従業員（パート除く）数は人員数を示し、役員は含まれていません。

直近の2事業年度における業務の状況

元受正味保険料

種　目	令和4年度		令和5年度	
	金　額	構成比	金　額	構成比
ペット保険	5,675,592千円	100%	6,578,519千円	100%
そ　の　他	—	—	—	—
合　計	5,675,592千円	100%	6,578,519千円	100%

元受正味保険料＝収入保険料－解約返戻金－その他返戻金

正味収入保険料

種　目	令和4年度		令和5年度	
	金　額	構成比	金　額	構成比
ペット保険	567,559千円	100%	657,851千円	100%
そ　の　他	—	—	—	—
合　計	567,559千円	100%	657,851千円	100%

正味収入保険料＝（収入保険料－解約返戻金－その他返戻金）－（再保険料－再保険返戻金）

支払再保険料

種　目	令和4年度		令和5年度	
	金　額	構成比	金　額	構成比
ペット保険	5,108,033千円	100%	5,920,667千円	100%
そ　の　他	—	—	—	—
合　計	5,108,033千円	100%	5,920,667千円	100%

支払再保険料＝再保険料－再保険返戻金－その他の再保険収入

保険引受利益

種　目	令和４年度		令和５年度	
	金　額	構成比	金　額	構成比
ペット保険	259,826千円	100%	392,776千円	100%
そ　の　他	—	—	—	—
合　計	259,826千円	100%	392,776千円	100%

保険引受利益＝保険引受収益から保険引受費用、営業費及び一般管理費を控除しその他の収支を加味したもの

正味支払保険金

種　目	令和４年度		令和５年度	
	金　額	構成比	金　額	構成比
ペット保険	25,478千円	100%	83,023千円	100%
そ　の　他	—	—	—	—
合　計	25,478千円	100%	83,023千円	100%

正味支払保険金＝支払保険金－回収再保険金

元受正味保険金

種　目	令和４年度		令和５年度	
	金　額	構成比	金　額	構成比
ペット保険	2,736,550千円	100%	3,305,328千円	100%
そ　の　他	—	—	—	—
合　計	2,736,550千円	100%	3,305,328千円	100%

元受正味保険金＝元受保険金－保険金戻入

回収再保険金

種　目	令和４年度		令和５年度	
	金　額	構成比	金　額	構成比
ペット保険	2,711,072千円	100%	3,222,304千円	100%
そ　の　他	—	—	—	—
合　計	2,711,072千円	100%	3,222,304千円	100%

正味損害率及び正味事業費率並びにその合算率

種　目	令和４年度			令和５年度		
	正味損害率	正味事業費率	合算率	正味損害率	正味事業費率	合算率
ペット保険	4.5%	9.9%	14.4%	12.6%	65.1%	77.7%
そ　の　他	—	—	—	—	—	—
合　計	4.5%	9.9%	14.4%	12.6%	65.1%	77.7%

再保険に付した部分の控除を考慮しない発生損害額及び損害調査費の合計額の既経過保険料に対する割合及び事業費の既経過保険料に対する割合並びにその合算率

種　目	令和４年度			令和５年度		
	発生損害率	事業費率	合算率	発生損害率	事業費率	合算率
ペット保険	54.4%	41.4%	95.8%	55.6%	38.3%	93.9%
そ　の　他	—	—	—	—	—	—
合　計	54.4%	41.4%	95.8%	55.6%	38.3%	93.9%

出再を行った再保険会社の数と出再保険料の割合

	令和４年度	令和５年度
出再先保険会社の数	1	1
出再保険料の割合	100.0%	100.0%

支払い再保険料の格付ごとの割合

格付区分	出再保険料における割合	
	令和４年度	令和５年度
A　以　上	100.0%	100.0%
そ　の　他	—	—
合　計	100.0%	100.0%

格付区分は、スタンダード&プアーズ社の格付を使用しております。

未収再保険金の額

種　目	未収再保険金	
	令和４年度	令和５年度
ペ　ッ　ト　保　険	680,069千円	840,537千円
そ　の　他	—	—
合　計	680,069千円	840,537千円

契約者配当金の額……該当事項はありません。

支払備金

種　目	令和４年度		令和５年度	
	金　額	構成比	金　額	構成比
ペット保険	150,364千円	100%	179,703千円	100%
そ　の　他	—	—	—	—
合　計	150,364千円	100%	179,703千円	100%

責任準備金

種　目	令和４年度		令和５年度	
	金　額	構成比	金　額	構成比
ペット保険	617,421千円	100%	341,953千円	100%
そ　の　他	—	—	—	—
合　計	617,421千円	100%	341,953千円	100%

利益準備金および任意積立金の区分ごとの残高……該当事項はありません。

損害率の上昇に対する経常利益又は経常損失の額の変動

損害率上昇のシナリオ	発生損害率が1%上昇すると仮定	
計算方法	増加する発生損害額＝既経過保険料×1% 経常利益の減少額＝増加する発生損害額	
経常利益の減少額	令和４年度	令和５年度
	5,553千円	6,475千円

資産運用の概況

種　目	令和４年度		令和５年度	
	金　額	構成比	金　額	構成比
現　預　金	1,243,583千円	44.1%	1,597,673千円	51.9%
金銭信託	—	—	—	—
国　債	—	—	99,882千円	3.2%
地方債	—	—	—	—
政府保証債	—	—	—	—
そ　の　他	—	—	—	—
【運用資産計】	1,243,583千円	44.1%	1,697,555千円	55.2%
総　資　産	2,816,329千円	100.0%	3,075,748千円	100.0%

利息及び配当金収入ならびに運用利回り

種　目	令和４年度		令和５年度	
	金　額	運用利回り	金　額	運用利回り
現　預　金	10千円	0.001%	1,327千円	0.096%
金銭信託	—	—	—	—
国　債	—	—	21千円	0.021%
地方債	—	—	—	—
政府保証債	—	—	—	—
そ　の　他	—	—	—	—
【運用資産計】	10千円	0.001%	1,348千円	0.091%

保有有価証券の種類別の残高及び合計に対する構成比

種　目	令和４年度		令和５年度	
	金　　額	構　成　比	金　　額	構　成　比
国　　債	—	—	99,882千円	100.0%
地　方　債	—	—	—	—
政府保証債	—	—	—	—
そ　の　他	—	—	—	—
【保有有価証券計】	—	—	99,882千円	100.0%

保有有価証券の種類別の利回り

種　目	令和４年度			令和５年度		
	取　得　額	金　　額	運用利回り	取　得　額	金　　額	運用利回り
国　　債	—	—	—	99,863千円	21千円	0.021%
地　方　債	—	—	—	—	—	—
政府保証債	—	—	—	—	—	—
そ　の　他	—	—	—	—	—	—
【保有有価証券計】	—	—	—	99,863千円	21千円	0.021%

保有有価証券の種類別の残存期間別残高

種　目	令和４年度（2023年3月31日）						
	1年以下	1年超3年以下	3年超5年以下	5年超7年以下	7年超10年以下	10年超	合計
国　　債	—	—	—	—	—	—	—
地　方　債	—	—	—	—	—	—	—
政府保証債	—	—	—	—	—	—	—
そ　の　他	—	—	—	—	—	—	—
【保有有価証券計】	—	—	—	—	—	—	—
種　目	令和５年度（2024年3月31日）						
	1年以下	1年超3年以下	3年超5年以下	5年超7年以下	7年超10年以下	10年超	合計
国　　債	—	99,882千円	—	—	—	—	99,882千円
地　方　債	—	—	—	—	—	—	—
政府保証債	—	—	—	—	—	—	—
そ　の　他	—	—	—	—	—	—	—
【保有有価証券計】	—	99,882千円	—	—	—	—	99,882千円

責任準備金の残高

責任準備金の残高内訳

区　分	普通責任準備金	異常危険準備金	契約者配当準備金	合計
ペット保険	218,561千円	123,391千円	—	341,953千円
そ　の　他	—	—	—	—
計	218,561千円	123,391千円	—	341,953千円

直近の２事業年度における財産の状況

計算書類

貸借対照表

（単位：千円）

科　目	令和４年度末	令和５年度末	科　目	令和４年度末	令和５年度末
（資産の部）			（負債の部）		
現金及び預貯金	1,243,583	1,597,673	保険契約準備金	767,785	521,657
現金	133	165	支払備金	150,364	179,703
預貯金	1,243,449	1,597,507	責任準備金	617,421	341,953
有価証券	—	99,882	普通責任準備金	514,830	218,561
国債	—	99,882	異常危険準備金	102,590	123,391
預け金	6,251	7,984	代理店借	27,848	32,882
有形固定資産	14,859	16,542	再保険借	1,350,462	1,552,763
建物	11,881	10,886	その他負債	357,349	290,478
その他の有形固定資産	2,977	5,655	未払法人税等	115,270	1,672
無形固定資産	13,140	43,503	未払金	63,347	76,455
ソフトウェア	13,140	41,834	預り金	5,379	5,200
その他の無形固定資産	—	1,669	仮受金	173,351	207,150
再保険貸	1,288,569	1,018,151	賞与引当金	12,000	21,500
その他資産	177,991	219,158	負債の部合計	2,515,445	2,419,282
未収金	291	39,162	（純資産の部）		
未収保険料	112,495	117,615	資本金	332,750	332,750
前払費用	6,587	6,961	資本剰余金	65,750	65,750
その他の資産	58,616	55,418	資本準備金	65,750	65,750
繰延税金資産	38,934	34,852	利益剰余金	△97,616	257,966
供託金	33,000	38,000	その他利益剰余金	△97,616	257,966
			繰越利益剰余金	△97,616	257,966
			株主資本合計	300,883	656,466
			純資産の部合計	300,883	656,466
資産の部合計	2,816,329	3,075,748	負債及び純資産の部合計	2,816,329	3,075,748

令和５年度貸借対照表に関する注記

1.会計方針に関する事項

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券（国債）

償却原価法（定額法）によっております。

(2)固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法によっております。ただし、建物及び平成28年４月１日以降に取得した建物付属設備については定額法によっております。

②無形固定資産

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（５年）に基づく定額法によっております。

(3)賞与引当金の計上基準

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額のうち当期負担額を計上しております。

(4)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2.会計上の見積りについて

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

(1)繰延税金資産

①当事業年度に係る計算書類に計上した額

34,852千円

②見積内容に関する情報

繰延税金資産は、将来の事業計画に基づく課税所得の発生時期及び金額によって見積もっています。また、将来の不確実な経済条件の変動によって影響を受ける可能性があり、翌事業年度の計算書類において、繰延税金資産の金額に重要な影響を与える可能性があります。

3.金融商品の状況に関する事項及び金融商品の時価等に関する事項

(1)金融商品の状況に関する事項

当社は、少額短期保険業を行っており、資産の運用においては運用資金の性格を考慮し、「安全性」「収益性」「流動性」「公共性」を総合的に判断し、社会・公共の福祉に資するような資産運用を目指しております。おもな運用手段は預貯金等であり、市場関連リスクや信用リスクに晒されております。リスク管理を含めた資産運用状況については、取締役会へ月次で報告しております。

(2)金融商品の時価等に関する事項

2024年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りです。

現金は注記を省略しており、預貯金及び未収保険料は短期間で決済されるため時価が帳簿価額と近似することから、注記を省略しております。

	貸借対照表計上額（千円）	時　価（千円）	差額（千円）
有価証券 満期保有目的の債券(国債)	99,882	99,770	△112

4. 有形固定資産の減価償却累計額は14,297千円です。

5. 繰延税金資産の発生の主な原因は、責任準備金です。

6. 支払備金の内訳

普通支払備金	147,180 千円
既発生未報告損害	1,649,857 千円
計	1,797,038 千円
同上に係る出再支払備金	1,617,334 千円
差引	179,703 千円

7. 責任準備金の内訳

普通責任準備金の内訳

普通責任準備金	2,622,653 千円
同上に係る出再普通責任準備金	2,404,091 千円
差引	218,561 千円

異常危険準備金

異常危険準備金	938,060 千円
同上に係る出再異常危険準備金	814,668 千円
差引	123,391 千円

8. １株当たりの純資産額は、92,851円61銭です。

損益計算書

（単位：千円）

科目	令和4年度	令和5年度
経常収益	10,696,772	12,216,905
保険料等収入	10,696,445	11,940,089
保険料	5,709,690	6,622,890
再保険収入	4,986,754	5,317,198
回収再保険金	2,711,072	3,222,304
再保険手数料	2,244,994	2,054,959
再保険返戻金	30,688	39,934
責任準備金戻入額	—	275,467
資産運用収益	10	1,348
利息及び配当金等収入	10	1,348
その他経常収益	316	—
経常費用	10,436,935	11,822,781
保険金等支払金	7,909,369	9,310,301
保険金等	2,736,550	3,305,328
解約返戻金等	34,097	44,371
再保険料	5,138,721	5,960,601
責任準備金等繰入額	226,387	29,339
支払備金繰入額	28,322	29,339
責任準備金繰入額	198,064	—
事業費	2,300,942	2,483,140
営業費及び一般管理費	2,281,456	2,460,504
税金	11,522	11,687
減価償却費	7,963	10,949
その他経常費用	236	0
その他の経常費用	236	0
経常利益	259,836	394,124
特別損失	14,135	—
減損損失	14,135	—
税引前当期純利益	245,701	394,124
法人税及び住民税	149,305	34,460
法人税等調整額	△10,338	4,081
法人税等合計	138,966	38,541
当期純利益	106,734	355,582

令和５年度損益計算書に関する注記

１．主な収益及び費用に関する内訳

(1)正味収入保険料

保険料	6,622,890 千円
再保険返戻金	39,934 千円
計	6,662,824 千円
出再保険料	5,960,601 千円
解約返戻金等	44,371 千円
差引	657,851 千円

(2)正味支払保険金

保険金等	3,305,328 千円
回収再保険金	3,222,304 千円
差引	83,023 千円

2.支払備金繰入額

支払備金繰入額	293,393 千円
出再支払備金繰入額	264,054 千円
差引	29,339 千円

3.責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）

普通責任準備金繰入額

普通責任準備金繰入額	488,473千円
出再普通責任準備金繰入額	784,743千円
差引	△ 296,269千円

異常危険準備金繰入額

異常危険準備金繰入額	198,421 千円
出再異常危険準備金繰入額	177,620 千円
差引	20,801 千円

4.利息及び配当金収入

資産運用収益は預貯金および国債の利息等です。

5．１株当たり情報

１株当たり当期純利益	47,284円93銭

6．関連当事者との取引は以下の通りです。

属　性	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係
役員が議決権の過半数を有している会社	株式会社ピクシー	14.76%	業務委託、出向

取引の内容	取引金額（千円）	科　目	期末残高（千円）
広告業務の委託等	1,087,971	未 払 金	17,802
代理店手数料	240,321	代理店借	22,930
出向料の受取	1,495	未 収 金	―

取引条件及び取引条件の決定方針等

当社と関連を有しない他の事業者との条件を参考に交渉の上、決定しております。

株主資本等変動計算書
令和４年度

（単位：千円）

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	332,750	65,750	65,750	△204,350	△204,350	194,149	194,149
当期変動額							
当期純利益				106,734	106,734	106,734	106,734
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計				106,734	106,734	106,734	106,734
当期末残高	332,750	65,750	65,750	△97,616	△97,616	300,883	300,883

令和５年度

（単位：千円）

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	332,750	65,750	65,750	△97,616	△97,616	300,883	300,883
当期変動額							
当期純利益				355,582	355,582	355,582	355,582
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計				355,582	355,582	355,582	355,582
当期末残高	332,750	65,750	65,750	257,966	257,966	656,466	656,466

令和５年度株主資本等変動計算書に関する注記

1.発行済み株式の種類及び総数

株式の種類	当期首株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	6,020株	0株	0株	6,020株
種類株式	1,500株	0株	0株	1,500株
合　計	7,520株	0株	0株	7,520株

2.新株予約権の目的となる株式の種類及び総数の内訳

区分	新株予約権の内訳	新株予約権の目的となる株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数			
			当期首	増加	減少	当期末
提出会社	ストックオプションとしての第一回	普通株式	260株	0株	0株	260株
提出会社	ストックオプションとしての第二回	普通株式	490株	0株	0株	490株
合　計			750株	0株	0株	750株

キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科　　目	令和４年度	令和５年度
営業活動によるキャッシュ・フロー		
保険料の収入	5,735,718	6,651,569
再保険収入	4,758,570	5,587,616
保険金等支払による支出	△2,742,802	△3,307,061
解約返戻金等支払による支出	△34,097	△44,371
再保険料支払による支出	△4,912,292	△5,758,299
事業費の支出	△2,287,051	△2,441,488
その他	1,340	△179
小計	519,384	687,785
利息及び配当金等の受取額	10	1,011
利息の支払額	△236	0
法人税等の支払額	△95,889	△186,849
営業活動によるキャッシュ・フロー	423,268	501,948
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金への預け入れ	－	△200,000
有価証券の取得による支出	－	△99,863
その他	△6,438	△47,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,438	△347,858
財務活動によるキャッシュ・フロー		
財務活動によるキャッシュ・フロー	－	－
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額	416,829	154,089
現金及び現金同等物期首残高	826,753	1,243,583
現金及び現金同等物期末残高	1,243,583	1,397,673

キャッシュ・フロー計算書注記

1．資金の範囲 キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から３ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなります。

2．現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	令和４年度	令和５年度
現金及び預貯金勘定	1,243,583千円	1,597,673千円
預入期間が３ヶ月を超える定期預金	－	200,000千円
現金及び現金同等物	1,243,583千円	1,397,673千円

3．金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

保険金等の支払能力の充実の状況

ソルベンシー・マージン比率

（単位：千円、%）

項　　目	令和４年度末	令和５年度末
（A）ソルベンシー・マージン総額	403,474	880,190
①純資産の部合計（社外流出予定額、評価・換算差額等及び繰延資産を除く。）	300,883	656,466
②価格変動準備金	—	—
③異常危険準備金	102,590	123,391
④一般貸倒引当金	—	—
⑤その他有価証券の評価差額（税効果控除前）（99%又は100%）	—	—
⑥土地含み損益（85%又は100%）	—	—
⑦契約者配当準備金の一部（除、翌期配当所要額）	—	—
⑧将来利益	—	—
⑨税効果相当額	—	100,332
⑩負債性資本調達手段等	—	—
告示（第14号）第２条第３項第５号イに掲げるもの（⑩（a））	—	—
告示（第14号）第２条第３項第５号ロに掲げるもの（⑩（b））	—	—
⑪控除項目（－）	—	—
（B）リスクの合計額$\sqrt{[R_1^2+R_2^2]}+R_3+R_4$	114,736	130,892
保険リスク相当額	93,395	108,948
R_1　一般保険リスク相当額	93,395	108,948
R_4　巨大災害リスク相当額	—	—
R_2　資産運用リスク相当額	58,455	66,024
価格変動等リスク相当額	—	998
信用リスク相当額	12,434	15,975
子会社等リスク相当額	—	—
再保険リスク相当額	33,135	38,869
再保険回収リスク相当額	12,885	10,181
R_3　経営管理リスク相当額	4,555	3,499
ソルベンシー・マージン比率　（A）/{(1/2) ×（B)}	703.3%	1,344.9%

時価情報等（取得価額または契約価額、時価および時価損益）

有価証券

①売買目的有価証券……該当事項はありません。

②満期保有目的の債券

	取得価額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
有価証券満期保有目的の債券（国債）	99,863	99,770	△93

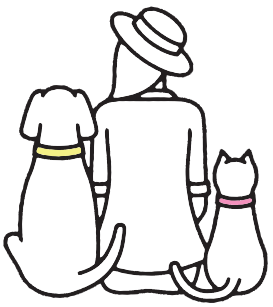
③子会社株式及び関連会社株式……該当事項はありません。

④その他有価証券……該当事項はありません。

金銭の信託　……該当事項はありません。

その他

当社は、会社法第436条第２項第１号の規定に基づき、保険業法272条の17の規定により公衆の縦覧に供する書類のうち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について、当社の会計監査人である仰星監査法人の監査を受けております。



Pet Medical Support

もっとペットを、
もっとあなたを、
守りたい。

ペットメディカルサポート株式会社
住所：東京都港区赤坂8-4-14 青山タワープレイス2階　HP：https://pshoken.co.jp/

R70
古紙パルプ配合率70％再生紙を使用